

ORIC NEWS

翔飛

ひこめい

No.4 (2004.4)



- 目次 -

巻頭言	2
1年を振り返って（入居企業の状況）	2・3
研修・交流会活動	3・4
入居者の活動・トピックス	5・6
入居企業の紹介	7
第6回入居審査会	8
入居案内	8

巻頭言

1周年を迎えて ORICに期待すること

岡山県では、商業及び工業の枠を超えた産業の創出・育成を図るとともに、総合的な産業政策の企画調整や雇用対策を推進するため、これまでの商工労働部を産業労働部に名称を改め、部内に、バイオ、環境、IT等の新産業の創出・支援を図るべく新産業推進課を新たに設けました。今後、産業労働部職員全員が一丸となって数多くの課題に積極的にチャレンジし、産業の振興と雇用創出に総合的・戦略的に取り組み、本県経済の活性化につなげていく覚悟でございますので、皆様の温かいご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年4月にオープンしたORICは、産学官が結集する岡山リサーチパークの優れた研究環境のもと、幅広い公的支援と民間のノウハウとネットワークを活用して、IT及びものづくりの分野における新技術・新製品の開発、新事業の創出をめざしております。

この1年の活動を顧みますと、ORICへの入居を契機に新たに設立された7社を含む延べ44社の皆様が入居され、既に新製品や新技術等を開

岡山県産業労働部長
池上 賢太郎



発した16社、海外との連携に取り組んでいる15社など、事業化に向けた積極的な取り組みがなされており、ベンチャーキャピタルが関心を寄せている企業もあると伺っています。創業支援につきましても、岡山大学地域共同研究センターや岡山県産業振興財団などの関係機関との密接な連携のもと、専任のインキュベーションマネージャーを中心として、研修交流会や発表展示会、さらには、商談会といった営業販売支援活動等が活発に展開されているところでございます。

岡山県で「孵化した」新しい技術や製品、サービスが世界に「羽ばたく」よう、県民から大きな期待が寄せられています。オープン2年目の始まりにあたり、ORICの運営にご尽力を賜っている関係各位に、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、入居企業の皆様には今後益々の御発奮、ご飛躍を心から祈念いたします。

1年を振り返って（入居企業の状況）

2004年4月1日現在の状況をまとめました。

< 順調な入居の伸びと多様な入居企業 >

1. 入居企業数が36社に達す。IT系15社、バイオ系12社、化学系8社、機械系1社。



ORIC竣工記念植樹の花桃もきれいに咲き、春の訪れと共に1年の経過が感じられます。

2. 入居率が79%に達す。46室。また、常駐者が85人に達する。

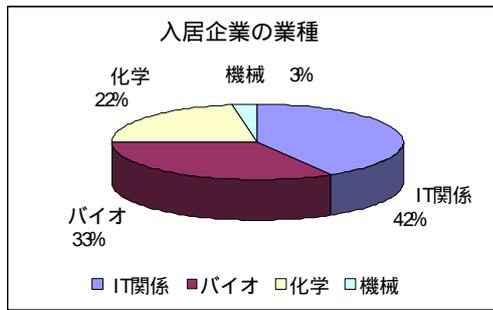
3. 若いベンチャー企業も多いが、(17社)、既存企業の第二創業も多く(16社)、大学発ベンチャー(3社)と多様な企業が入居しており、多様性による新しい出会いが期待される。

< 多い県外入居企業 >

4. 県外企業の入居が9社に達する。東京、広島、香川、大阪、中国。

< 大学との着実な連携 >

5. ものづくり系企業を中心に大学との連携が順調で、25社に及ぶ。今後はIT系企業の大学との連携拡大が課題。



< 若い企業を支援 >

6. 設立 5年未満の入居が 22社となり、若い企業を支援するという CRIC設立の狙いが活きている。(5年未満の企業には月額入居料を半額に減額している)

< 入居が会社設立のきっかけに (創業促進効果) >

7. 入居をきっかけに会社設立した企業が 7社。CRICの存在が地域の起業促進に役立っている事が判る。

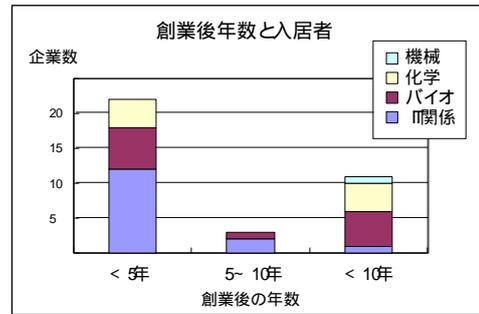
< 入居者同士の交流も盛ん >

8. 入居企業同士の相互交流により新たな協力、協業関係が出来てきている。自社のシステム開発を入居企業に発注したり、自社の製品に加え、別の入居企業の製品をシステム提案に含める事で商談が活発化しているケースが現れている。

< 順調な事業展開：雇用増加、資本増資 >

9. 有限会社から株式会社へと発展した企業が 2社。

10. 常駐者数が増えた企業が 10社になった。新規雇用数は 13人。



11. 増資が具体化している企業が 4社。

< 活発な広報活動 (展示会参加、プラン発表、コンテスト) と活発化してきた営業活動 >

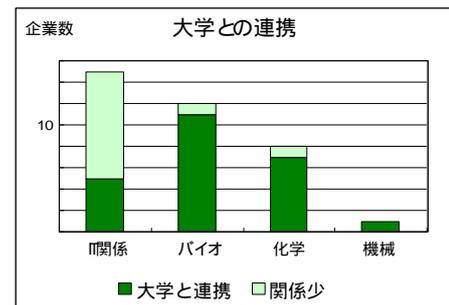
12. 県外のコンテスト入賞企業が現れた。

[ピークル：バイオビジネスコンペ JAPAN (東大、京大、阪大等主要大学の共催、各地方経済産業局が後援)]

13. 岡山県のビジネスプランコンテスト入賞企業が現れた。(日本ステントテクノロジー)

14. 岡山県のビジネスプランコンテストに優勝した企業が入居した。(アイビー)

15. 県内外の 9種のイベントに延べ 38社が展示、プレゼン、マッチング活動に参加



研修・交流会活動

ORIC交流会及びセミナーの開催

1月度

交流会

事業紹介：(株)ジャパン・ブレインズ・ネット (株)レックウェル

今年最初の交流会は 1月 16日に行われました。事業紹介は(株)ジャパン・ブレインズ・ネットと(株)レックウェルの 2社が行いました。損害保険分野での経験を基に起業された(株)ジャパン・ブレインズ・ネットはインターネットを活用して中小企業とそこで働く人たちに大企業並みの福利厚生サービス・保険商品等を提供する事業に取り組んでお



交流会、事業紹介 (衛エムテクノロジー)

られますが、損保業界の現状と同社のビジョン、具体的な取組の状況を語ってくれました。(株)レックウェルは韓国の IT企業リズテックと提携して e-ラーニング・システム事業を推進していますが、同志社女子大などで採用された同社の教育コンテンツ作成システムをデモしながら解説し、使い易さを強調されていました。

セミナー 「資金調達と資本政策」

続いて行われたセミナーでは CRICの非常勤 IMである三菱総合研究所ベンチャー支援事業部長内海和夫氏が「資金調達と資本政策」というテーマで講演しました。ベンチャー企業は事業が軌道に乗りキャッシュフローが高いレベルで回転するようになるまでは旨く資金調達をしないと事業運営がままならず最悪倒産に至るので大きな課題である事、資金やその提供者の性格の違い、その時点でのベンチャー企業の財務状況・運営状況や戦略を踏まえて最適な調達を行う事が重要と講演しました。資本政策については演習形式でベンチャー企業を想定し、基本方針を立てるところから、策定プロセスとして現状分析、ゴールの設定、個別スキームの検討、想定政策の効果測定までをケーススタディ的に解説して、具体的な実務セミナーとなりました。

2 月度

交流会

事業紹介：(有)日本ステントテクノロジー (株)アルファテクノ

2月の交流会は2月27日に行われました。事業紹介は(有)日本ステントテクノロジーと(株)アルファテクノの2社が行いました。岡山から世界へ！医療用ステント業界で欧米企業へ巻き返しを図る(有)日本ステントテクノロジーは心筋梗塞などの治療のために血管に差込み、血液の流れを確保する血管拡張材「ステント（直径1ミリ、長さ15ミリ程度）」の「形状最適化設計ソフト」を開発し、これを基に事業化を進めていますが、同社の「強くても柔らかい」という相反する機能が求められるステントの課題解決状況を説明しました。(株)アルファテクノはパートナー会社が開発したセラミック電極を使用した電解水製造装置の用途開発と導入用途に応じた最適化設計・施工を事業としています。安価、長寿命の導電性セラミックの長所と高い殺菌効果を持ち人体・食材に安全、且つ高い消臭効果を発揮し有機物と接触すると直ちに水、炭酸ガス、窒素ガスなどに分解し排水問題を起こさない電解水の特徴を説明しました。

セミナー

「”経営者”になるための財務管理 入門編」

今回のセミナーは「経営者になるための財務管

理 入門編」というタイトルで監査法人トーマツ岡山事務所トータルサービス担当マネージャーで公認会計士の大倉宏治氏が講演しました。「経営者には会計責任がある」との見方で、採算管理のポイント、製品の販売状況に応じた営業費用のかけかた、運転資金と創業資金の違い、資金繰り（必要資金の見積）の重要性などについて具体例を交えて説明しました。

3 月度

交流会 事業紹介：(有)エムテクノロジー

15年度最後の入居者交流会を3月29日に開催しました。

事業紹介は(有)エムテクノロジー（211号室）より、シリコンウエハーの自動洗浄装置の制御システムの説明と韓国・中国・台湾・東南アジアでのビジネスにおいて当社は代理店を使っていないため各地域の習慣に合わせた対応の苦労等の話をいただきました。また今後の注力分野である大阪府立大学との提携による無侵襲血糖計についての説明がありました。

引き続き CRICにおいて、従来の CRIC共用回線（情報ハイウェイ 3M）に加え、Bフレッツ対応が可能となったので、『CRICでのBフレッツの利用について』の説明会を NIT西日本岡山支店の協力により行いました。

なお15年度実施した9回の交流会の延べ参加者は303名になっています。

セミナー 「事業戦略づくり」

引き続き行われたセミナーでは CRICの非常勤 IMである三菱総合研究所ベンチャー支援事業部長内海和夫氏が、『事業戦略づくり』というテーマで講演しました。

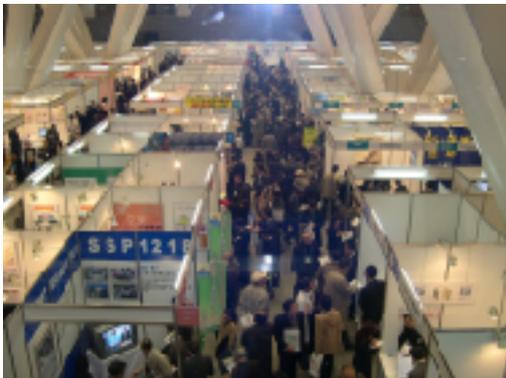
事業コンセプトの基本の考え方、エンドユーザーだけでなくサブユーザーの重要性を含めた顧客の捉え方、ビジネスフローや儲ける仕組み考えたビジネスモデルを構築が大切であることについて話がありました。入居企業にとっても自社のビジネスプランを再確認する良い機会となったのではないかと思います。

16年度も CRICスタッフ、入居者、外部機関との親密化・ネットワーク拡大の場として、CRIC交流会・セミナーを開催してまいりますので、皆様の積極的な参加をお願いします。

入居者の活動・トピックス

ベンチャーフェア JAPAN 2004

インタロボット㈱、㈱バイオバンク、
㈱レックウェルが出展



東京国際フォーラム：2004年 1月 21,22日開催

経済産業省中小企業庁、中小企業総合事業団主催のこのイベントには CRICから㈱バイオバンク、インタロボット㈱、㈱レックウェルがブースを確保、有楽町駅前という会場立地の良さから訪れる大勢の来訪者に対して製品展示・デモンストレーションを行いました。

㈱バイオバンクは乳酸菌利用のサプリメントを製造・販売していますが、最近ではこの応用の幅を広げ、農業用土壌改良剤、牧場やゴミ処理施設の脱臭剤を開発・販売したり、抗菌剤（スキンケアローション等）、更には養殖魚用飼料及び水質改良剤にも参入しています。同社のブースはひっきりなしに訪問者が訪れ、3人の説明員の方たちは休み無く対応に追われていました。

インタロボット㈱は非言語コミュニケーションをテーマにコンピュータ・グラフィックス・キャラクターやロボットを用いた対話型情報システムを事業化しており、会場にはピラ配りロボットを配し、これまで以上に判り易い説明が行われ、ロボットの動きで来訪者の足を止めさせていました。同社は製品説明に PC画面を使っているのですが、



㈱バイオバンクのブース

いくつもある製品説明シナリオの選択にシナリオ毎の非接触 ICカードを用いて操作性を上げていたのを面白く思いました。

㈱レックウェルは独立前の㈱メレックの名前で参加。「本当に伝えたい、教えたい事を電子教材に！」を第一義に e-ラーニングの教材作成と運営・管理を一括して行う MST(教材作成ツール)と MSTeLMS(運営・管理システム)などを展示、簡単操作で映像・音声・手書き情報を講義コンテンツを作る事が出来る点をアピールしていました。同社も用意した資料が途中で無くなり、急遽追加した程だそうです。

岡山テクノプラザ '04 in大阪

シックス㈱がビジネスプラン発表、展示出展

1月 27日に大阪産業創造館で(財)岡山県産業振興財団が主催した同イベントには延べ 24社が製品展示、7社がプラン発表しました。財団によると約 300名の来訪者があったそうです。CRICからシックス㈱が製品展示とプラン発表の両方で参加しました。同社は岡山県にも採用された PCIによるウェブベースの同時多地点・同時複数会議を可能にする TV会議システムと携帯電話を使い岡山理科大学の iHORB による多用途アンケート、調査システムのポケットリサーチを出展、プレゼンしました。同社はその直前の 1月 23日と 24日に福岡市で行われたビジネス交流会「フクオカベンチャーマーケット ビッグマーケット inアクロス福岡」でも製品展示とプラン発表のイベントに参加しており、活発な売り込み活動が目立ちます。

岡山テクノフェア '04 in愛知

インタロボット㈱、シックス㈱が展示出展

2月 5日と 6日の二日間、愛知県刈谷市産業振興センターで(財)岡山県産業振興財団が主催で開催されました。自動車産業を擁し裾野が広い愛知県での開催に、鋳造・鍛造・表面処理からプレス、機械加工、プラスチック加工など各種分野から合計 50社が参加しました。CRICからは電子機器・ソフト関連のカテゴリで遠隔会議システム eKAIGIと携帯電話アンケートシステム Pocket Researchを展示したシックス㈱及び、対話型情報端末「イ

ンフォトークステーション」とコミュニケーション・ロボットシステム（ビデオ）を展示したインタロボット株の2社が参加しました。

中国遼寧省大連市の企業との商談会

㈱ユニオンインフォテクノロジー、シックス㈱が参加

2月24日にORIC交流サロンで、岡山県商工労働部主催で開催されました。午前中は大連市の6企業（11名参加）のプレゼンが行われ、午後は交流サロンにわか仕立てで企業別に個別のブースを作り日本側企業と個別商談会を行いました。日本側

からの参加は28社48名で、ORIC入居企業の中からは㈱ユニオンインフォテクノロジーとシックス㈱が参加しました。



ORIC会場、中国企業側のプレゼン風景

Topics

ピークル

<株式会社化 !!岡山研究所オープン 記念講演会の開催（5月19日）>

大学発のバイオベンチャー企業である(有)ピークルが資本金2200万円に増資を行い株式会社ピークルに発展しました。同社は遺伝子、薬剤をピンポイント、高効率で細胞・組織に導入する技術の実用化に向けて取り組んでいます。大手試薬メーカーと共同開発及び販売契約の締結が進み、近々、試薬販売を開始する運びになっています。事業の進捗に伴い、4月にORIC内に岡山研究所を開設し、開所を記念して講演会が開催されます。大学発のバイオベンチャーで既に、マザーズに上場しているアンジェスMG社の森下竜一（大阪大教授）やベンチャー企業㈱iGENE社の須藤鎮世氏を講師に迎えての講演会で、大学発ベンチャーを目指す方々に是非参加をお勧めしたい。

日時：平成16年5月19日（水）午後2時～

場所：ピュアリティまきび

（岡山市下石井2-6-41）

講演題目：

「大学発ベンチャーの現状と将来」

講師：大阪大学大学院医学研究科

教授 森下 竜一 氏

アンジェスMG㈱ 取締役

「ベンチャー企業設立 株式会社iGENEの場合」

講師：就実大学薬学部

教授 須藤 鎮世 氏

㈱iGENE 代表取締役 社長

アイ・エス・ティ

<大手住宅メーカーよりVPN網構築を受注（2004年3月）>

VPN（バーチャル・プライベート・ネットワーク）は低コストで高度なセキュリティのネットワークを構築できる技術です。

アイ・エス・ティはこの構築を受注し、完成しました。住宅メーカーの7拠点を結ぶVPN網は従来よりもセキュリティを高めながらも回線費用を大幅に下げ、またユーザーの手間も削減することができ、評価をいただきました。

VPN構築にあたっては岡山リサーチパークインキュベーションセンター（岡山情報ハイウェイPOP）のネットワーク環境を活用し、十分なテストを行ったため大きなトラブルも無く完成することができました。

尚今回の実績で信頼を得たことにより、保守契約も締結することができました。

入居企業の紹介

【有限会社 ア・オリジナル】

岡山で新たなスタイルで IT事業を行う企業の一つに、一昨年、産声をあげたア・オリジナル有限会社があります。

ア・オリジナルのアは名簿順であっても1番のなるうとの願いを込めて、付けられたとのこと。これは勿論、オリジナリティーある製品・活動を通じての1番を目指しています。

同社は、県の認定を受けて、インキュベーション・センター（県リサーチ・パーク内）で研究・開発活動を行っています。研究・開発テーマは運送・運送業者に特化したテーマで、

- ：運送業者の業務効率化、
- ：輸送効率化を IT活用によって実施すること。

の研究・開発テーマの成果として、運送業者向け業務アプリケーション・パッケージ・ソフト

ウェア「流通革命」（登録商標申請中）を完成させた。導入企業の声の中には、事務処理業務の労力を5分の1に削減でき、業務自体も正確になったとの声も上がっています。

「流通革命」開発責任者は、「このパッケージ・ソフトウェアが多くの運送業者に定着し、運送業の経営効率を高めることを望んでいる。」と語り、中小運送業でも容易に導入可能な価格を設定。

の研究・開発テーマでは、トラックの実車率にテーマを絞り、県内一事業所の協力を得て、昨年末から実証実験に着手した。これが、本格的に立ち上げれば、荷主にとっての輸送コストの低減、運送業者の収益性 UP、排ガス削減等社会的意義も大。行く行くは、情報センターを設立・運営の予定です。

【産学連携（財団法人 岡山県産業振興財団） ナノプレジジョンエリア事業共同研究室】

「岡山西部エリア事業共同研究室」・・・インキュベーションセンター106号室にこんな看板が付いているのを皆さんはご存じでしょうか？「何のこと？」の疑問を抱かれた方もいらっしゃると思います。

「岡山西部エリア事業」とは、文部科学省が主管する都市エリア産学官連携促進事業の1つです。この事業は、ものづくり企業が多く存在する岡山県でも特に、岡山西部（笠岡市、井原市、里庄町）に精密で微細な加工を得意とする企業が集積していることに着目し、このエリアの保有する精密加工技術と岡山県工業技術センター、岡山大学、岡山理科大学などの研究シーズを融合させることによりナノスケールの超精密生産技術の確立、ひいては「超精密生産技術先進県・岡山」を構築することを目指して事業を展開しています。

財団法人岡山県産業振興財団を中核機関、岡山県工業技術センターをコア研究機関として共同研究を行うとともに産学官の連携を推進しています。研究テーマとその概要は以下のとおりですが、研究室では主に のテーマを推進しています。

電子・陽電子線形衝突型加速管セルのナノ加工技術

新しい素粒子や物理法則の発見を目的とした直線型加速器のキーパーツである加速管セルの超精密高能率加工技術の確立を目指す。

共同研究機関：岡山県工業技術センター、岡山理科大学、関西大学、大阪電気通信大学、高エネルギー加速器研究機構、安田工業(株)

宇宙望遠鏡用紫外線反射鏡の鏡面ナノ加工技術
宇宙の根源や素粒子などの解明を目的とした宇宙望遠鏡に用いる大口径反射鏡の鏡面加工技術の確立を目指す。

共同研究機関：岡山県工業技術センター、東京大学宇宙線研究所、安田工業(株)

三次元マイクロリアクター、マイクロアクチュエータの微細加工技術の開発

加工の困難な硬脆材料の加工技術の確立とそれを応用したマイクロ反応器やマイクロモータ等の試作と評価を行う。

共同研究機関：岡山県工業技術センター、岡山大学、(株)化繊ノズル製作所

第6回入居審査会 - 入居内定者の紹介 -

去る 3月 17日に第 6回審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記の 3社の入居の内定が発表されました。

入居内定企業名 代表取締役	事業の概要	本社所在地	分野
株式会社川本 小坂田 浩嗣	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道GISと監視装置の統合ソフトの開発と実験、販売 ・水処理プラントの運転シミュレータソフトの開発、販売 ・岡山情報ハイウェイを利用した監視センターの通信実験、販売 	岡山市	IT
株式会社ザイン 手銭 克己	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向け情報セキュリティ・マネジメント・システムの開発・販売 ・関連する情報セキュリティ・ツールの企画・開発・販売 	岡山市	IT
株式会社 VOIPACK JAPAN 許 徹	<ul style="list-style-type: none"> ・I P 電話の開発・販売 ・中小企業向けプロジェクト管理ソフトの開発・販売 	岡山市	IT

《セミナー案内》 平成 16年度新規創業支援研修（岡山）のご案内

この研修は新規創業を目指す方、企業内で第二の創業を考えている方や立ち上げた事業を見直したい方を対象とし、創業のために必要な基礎知識やノウハウの習得していただくとともに自己のビジネスプランを再検討し、具体的なビジネスプランを完成するための研修です。

研修カリキュラムの詳細は
<http://inst.jasmec.go.jp/hiroshima/>をご覧ください。

開催日：平成 16年 7月 24日（土）・25日（日）・31日（土）
 平成 16年 8月 7日（土）・8日（日）
 開催場所：岡山ロイヤルホテル（岡山市絵図町 2 - 4）
 定員：30名
 受講料：10,000円
 お問い合わせ：中小企業大学校広島校 研修課
 Tel. 082-278-4955

入居者募集中！！

ORICでは、意欲と能力にあふれたベンチャー企業の入居を募集しています！！
 随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。

施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室 小	約 25 m ²	22	45,000 円
研究室 中	約 50 m ²	30	88,000 円
研究室 大	約 100 m ²	6	175,000 円

- ・入居後 3 年間は、更に 1 / 2 減免の制度もあります。
- ・複数室の利用も可能です。

募集概要

対象：情報通信や、ものづくり分野を中心に
 新技術・新製品の開発、創業を目指す個人・グループ・企業。

期間：3 年以内（再申請もできます）。
 審査：入居にあたり、審査があります。

次回募集

原則として 3 ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。

今回は 5 月末日までに事業計画書を提出された方を対象に、6 月中旬に審査会の開催を予定しています。

（参考）【入居可能研究室】（2004年 4月 1日現在）

研究室大（50m²）：3 室
 研究室小（25m²）：4 室
 試作開発室（100m²）：5 室

お問い合わせ

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター
 TEL: 086-286-9116 FAX: 086-286-9117
 E-Mail: info@oric.ne.jp
 詳細は ORIC ホームページをご覧ください。
<http://www.oric.ne.jp>